

# 2016年3月期 第2四半期 決算説明会

2015年11月17日

△ 古河機械金属株式会社

\* 本資料の予想につきましては、説明会開催日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

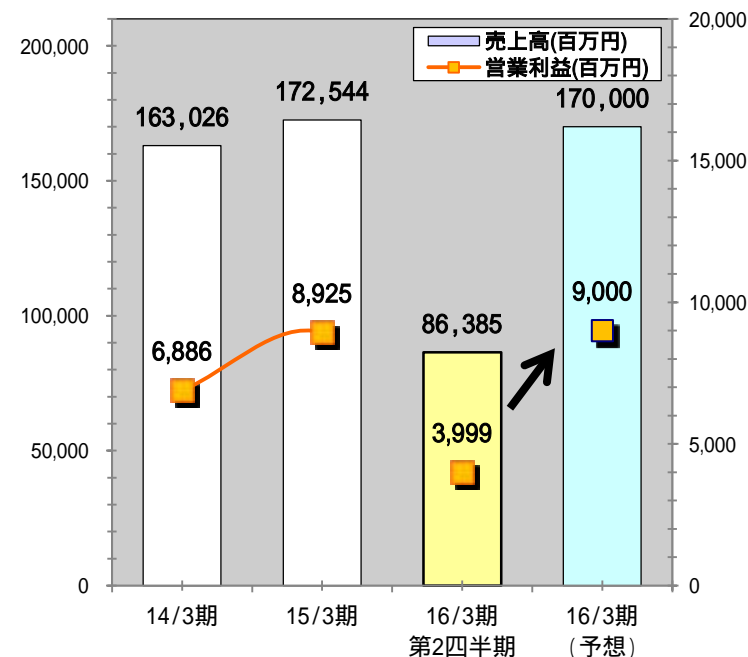
## 【業績】

(単位:百万円)

	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	対前年同期 増減	15年3月期	16年3月期 予想	対15/3期 増減
売上高	82,887	86,385	3,498	172,544	170,000	2,544
営業利益	3,755	3,999	243	8,925	9,000	74
経常利益	3,400	3,248	152	6,603	7,500	896
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,927	2,440	513	9,793	5,000	4,793

## 【財務状況】

		15年3月期	16年3月期 第2四半期	対15/3期 増減
総資産	百万円	207,317	198,267	9,050
純資産	百万円	70,581	68,881	1,700
自己資本比率	%	33.2	33.8	0.6



## 〔売上高〕

（単位：百万円）

	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	対前年同期増減
機械部門	35,712	36,835	1,123
（産業機械）	(7,798)	(6,561)	( 1,236)
（ロックドリル）	(14,315)	(16,755)	(2,439)
（ユニック）	(13,599)	(13,519)	( 79)
金属部門	39,679	41,835	2,156
電子部門	3,073	2,793	280
化成品部門	3,017	3,024	7
不動産部門	1,024	1,528	504
その他	381	368	13
合計	82,887	86,385	3,498

		16年3月期 第1,2Q実績	対前年同期増減
銅	価	5,653 \$ / トン	1,237 \$ / トン
為	替	121.8円 / \$	18.8円 / \$

## 〔営業利益〕

（単位：百万円）

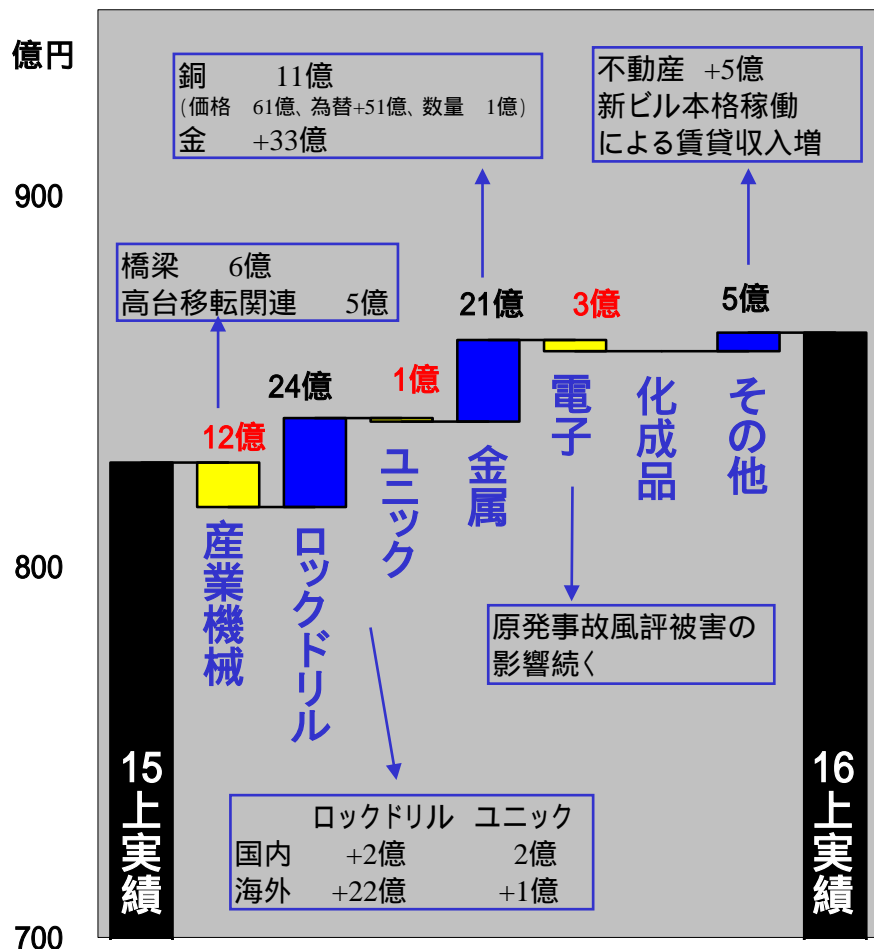
	15年3月期 第2四半期	16年3月期 第2四半期	対前年同期増減
機械部門	2,694	2,975	280
（産業機械）	(404)	(334)	( 70)
（ロックドリル）	(534)	(1,244)	(710)
（ユニック）	(1,755)	(1,396)	( 359)
金属部門	690	495	195
電子部門	115	161	277
化成品部門	145	135	10
不動産部門	185	643	458
その他	57	43	13
調整額	18	46	27
合計	3,755	3,999	243

## 売上高

828億

35億増(4.2%増)

863億

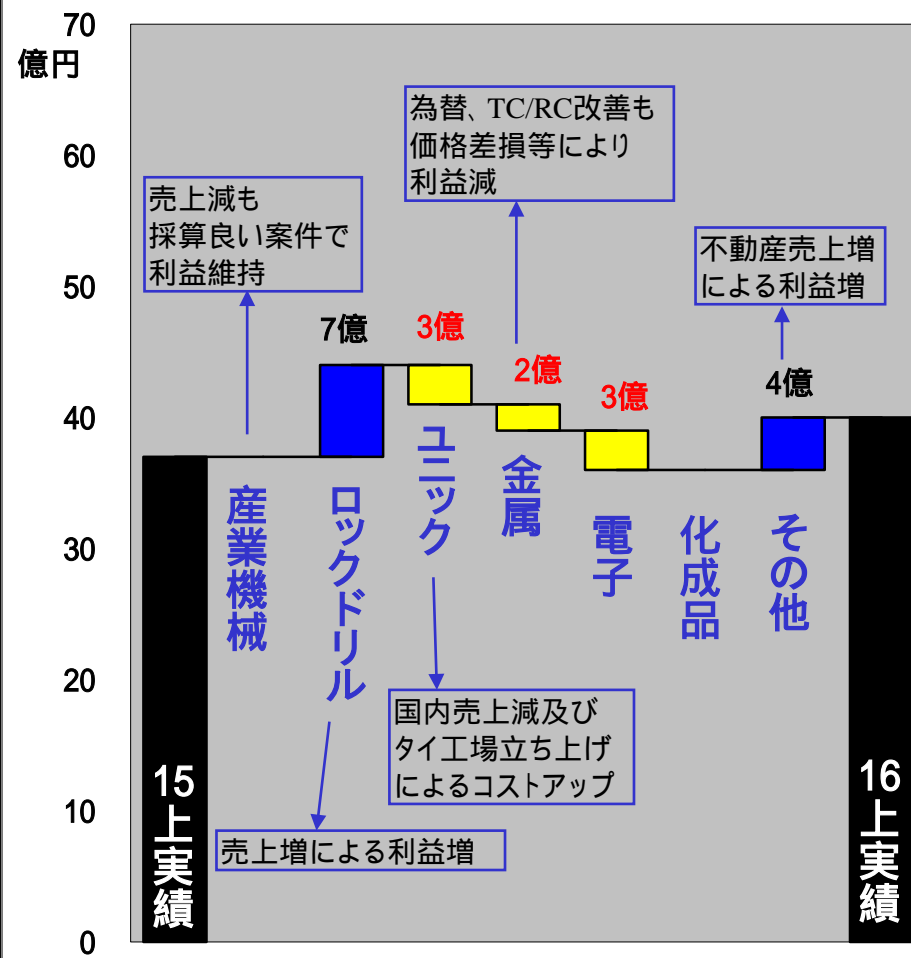


## 営業利益

37億

2億増(6.5%増)

39億



ロックドリルは海外売上増により採算改善、金属は価格差損等により減益。

(単位:百万円)

	15/3月期 第2四半期	16/3月期 第2四半期	対前年同期増減
<b>売上高</b>	<b>82,887</b>	<b>86,385</b>	<b>3,498</b>
売上原価	70,903	73,486	2,583
(売上総利益)	11,984	12,898	914
販売費及び一般管理費	8,228	8,899	671
<b>営業利益</b>	<b>3,755</b>	<b>3,999</b>	<b>243</b>
営業外収益	710	563	146
受取配当金	247	288	41
その他	463	274	188
営業外費用	1,065	1,314	249
支払利息	470	425	44
休鉱山管理費	278	286	8
その他	315	601	285
<b>経常利益</b>	<b>3,400</b>	<b>3,248</b>	<b>152</b>
特別利益	1,049	448	601
受取補償金	432	391	40
事業譲渡益	529	-	529
その他	87	56	30
特別損失	106	229	123
減損損失	70	206	136
その他	35	22	12
税金等調整前当期純利益	4,344	3,466	877
法人税、住民税及び事業税	2,485	658	1,826
法人税等調整額	126	320	446
<b>四半期純利益</b>	<b>1,984</b>	<b>2,486</b>	<b>501</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	46	11
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>1,927</b>	<b>2,440</b>	<b>513</b>

不用品処分益の減少等

為替差損の増加等

原発事故の風評被害に対する  
損害賠償金

前期は貸倒引当金の戻し入れ  
による加算等

(単位:百万円)

区分	15年3月期	16年3月期 第2四半期	対15/3期増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	80,564	75,590	4,973
固定資産	126,753	122,676	4,076
有形固定資産	86,177	85,692	484
無形固定資産	184	171	12
投資その他の資産	40,391	36,811	3,580
<b>資産合計</b>	<b>207,317</b>	<b>198,267</b>	<b>9,050</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	63,870	56,716	7,153
固定負債	72,865	72,669	196
<b>負債合計</b>	<b>136,735</b>	<b>129,385</b>	<b>7,350</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	58,408	58,996	588
資本金	28,208	28,208	-
利益剰余金	30,257	30,847	589
自己株式	57	59	1
その他の包括利益累計額	10,375	8,049	2,325
新株予約権	53	53	-
非支配株主持分	1,745	1,782	36
<b>純資産合計</b>	<b>70,581</b>	<b>68,881</b>	<b>1,700</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>207,317</b>	<b>198,267</b>	<b>9,050</b>

株価下落による投資有価証券の減少

有利子負債の減少、未払金の減少等

株価下落による  
その他有価証券評価差額金の減少

有利子負債 (単位:百万円)

	15年3月期	16年3月期 第2四半期	対15/3期増減
短期	12,658	12,656	2
長期	69,395	68,253	1,141
<b>有利子負債合計</b>	<b>82,053</b>	<b>80,909</b>	<b>1,144</b>

# 16年3月期業績予想（連結）

## 【業績予想】

(単位:百万円)

	15年3月期	16年3月期 (予想)	対15/3期 増減
売上高	172,544	170,000	2,544
営業利益	8,925	9,000	74
経常利益	6,603	7,500	896
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,793	5,000	4,793

## 【前提条件】

	15年3月期	16年3月期 (予想)	対15/3期 増減
銅 価	6,554 \$ / トン	5,477 \$ / トン	1,078 \$ / トン
為 替	109.9円 / \$	120.9円 / \$	11.0円 / \$

## 〔売上高〕

(単位:百万円)

	15年3月期	16年3月期予想	対15/3期増減
機械部門	75,990	78,600	2,609
（産業機械）	(16,712)	(17,400)	(687)
（ロックドリル）	(30,910)	(30,900)	(10)
（ユニック）	(28,367)	(30,300)	(1,932)
金属部門	81,513	76,000	5,513
電子部門	5,743	5,500	243
化成品部門	6,013	6,000	13
不動産部門	2,535	3,000	464
その他	747	900	152
合計	172,544	170,000	2,544

## 〔営業利益〕

(単位:百万円)

	15年3月期	16年3月期予想	対15/3期増減
機械部門	6,551	6,450	101
（産業機械）	(1,711)	(1,200)	(511)
（ロックドリル）	(1,225)	(1,800)	(574)
（ユニック）	(3,614)	(3,450)	(164)
金属部門	1,449	1,600	150
電子部門	52	250	302
化成品部門	267	200	67
不動産部門	776	1,200	423
その他	130	40	90
調整額	42	160	117
合計	8,925	9,000	74

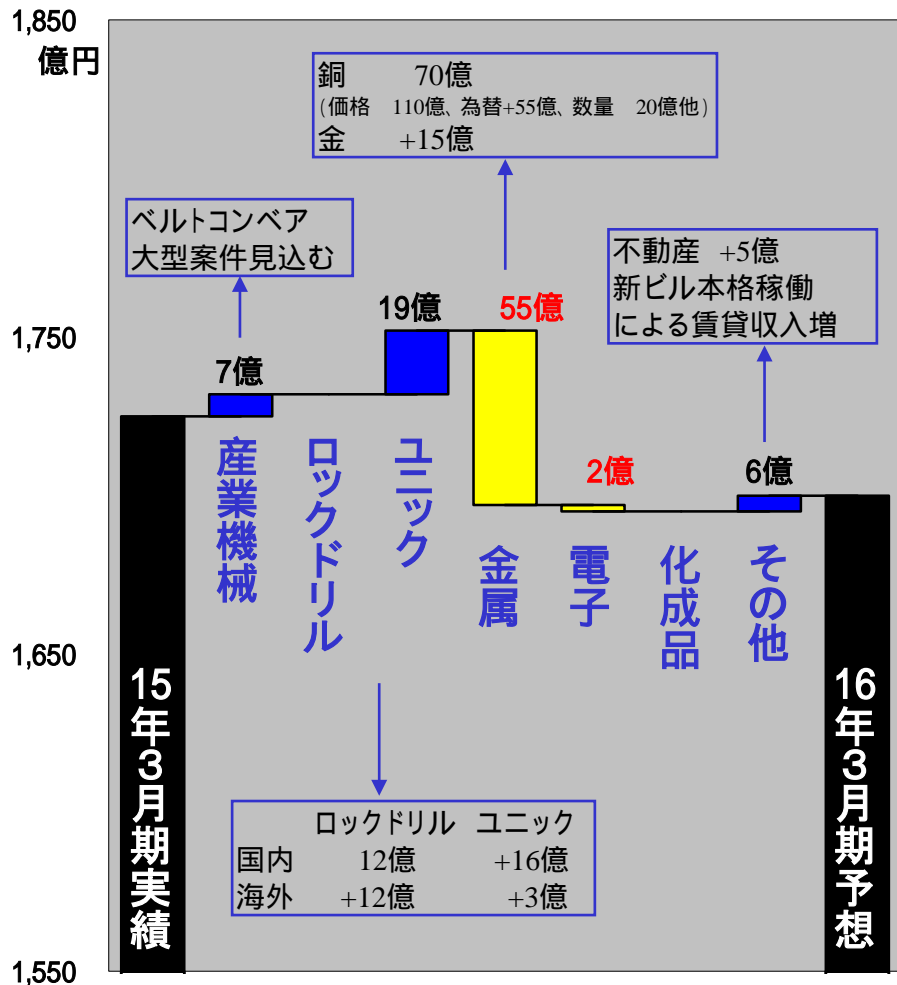
# 16年3月期部門別業績予想の増減

## 売上高

1725億

25億減(1.5%減)

1700億

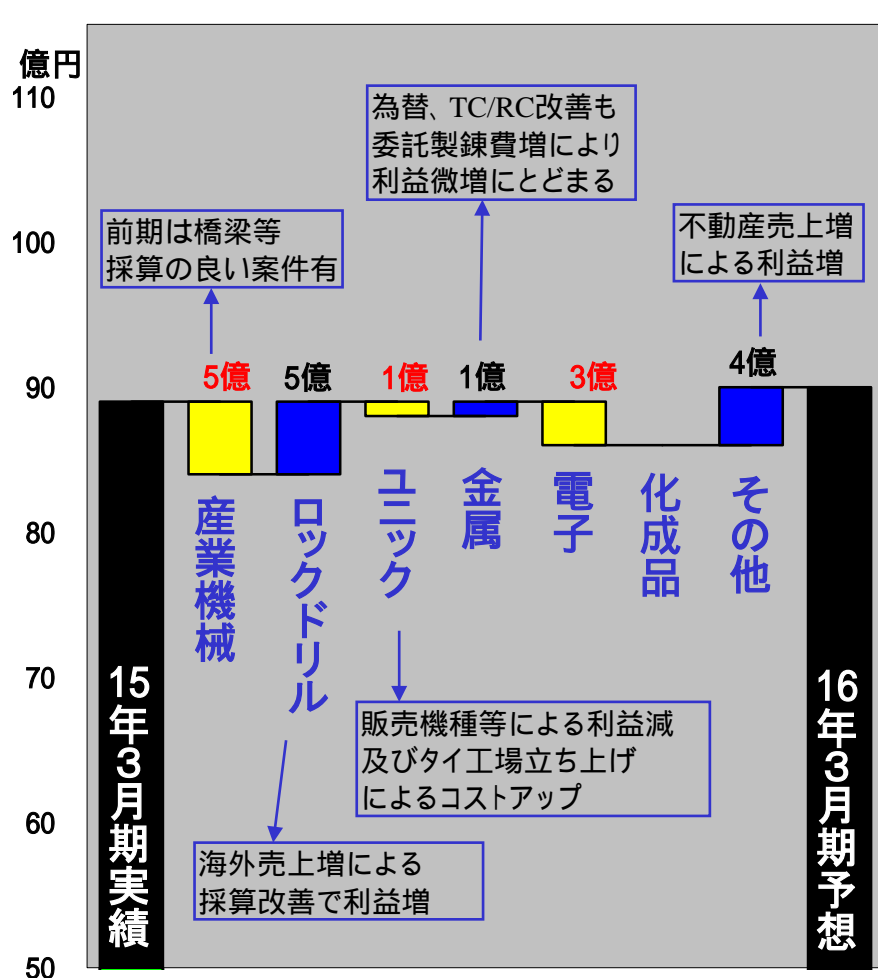


## 営業利益

89億

1億増(0.8%増)

90億



ロックドリルは海外売上増による増益、金属は委託製錬費増が響く。



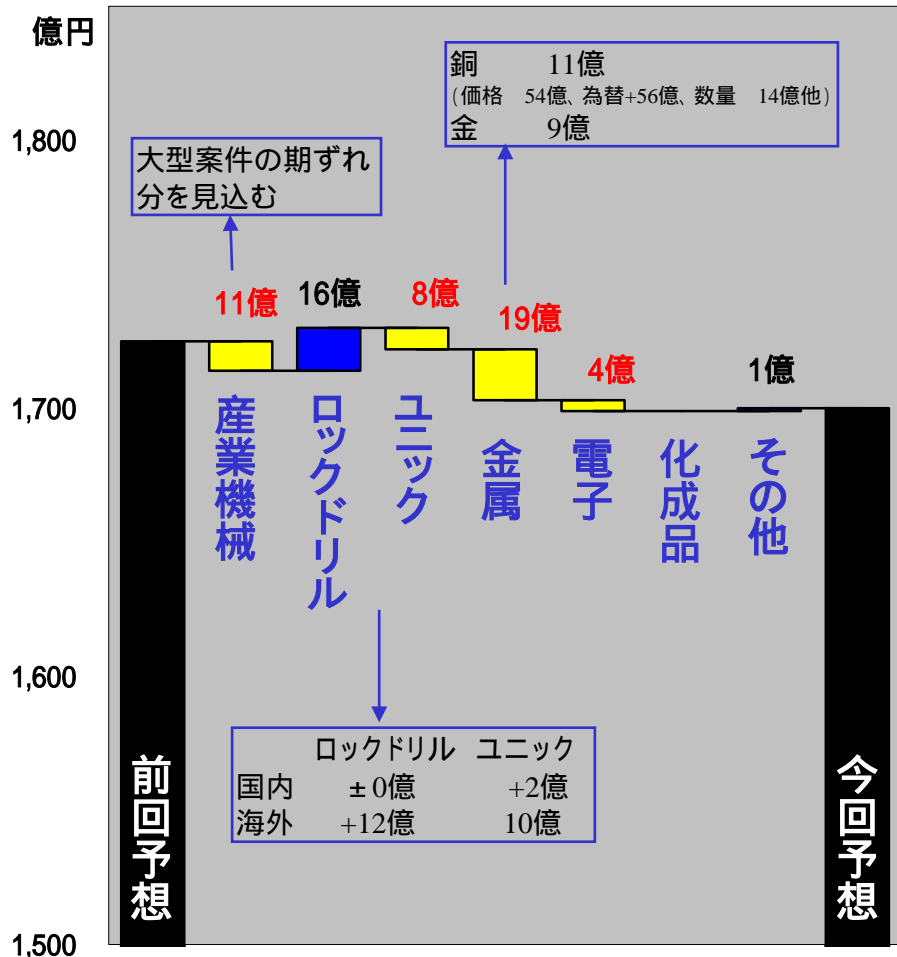
# 16年3月期業績予想の前回予想 (5月8日発表) との増減

## 売上高

1725億

25億減 (1.4%減)

1700億

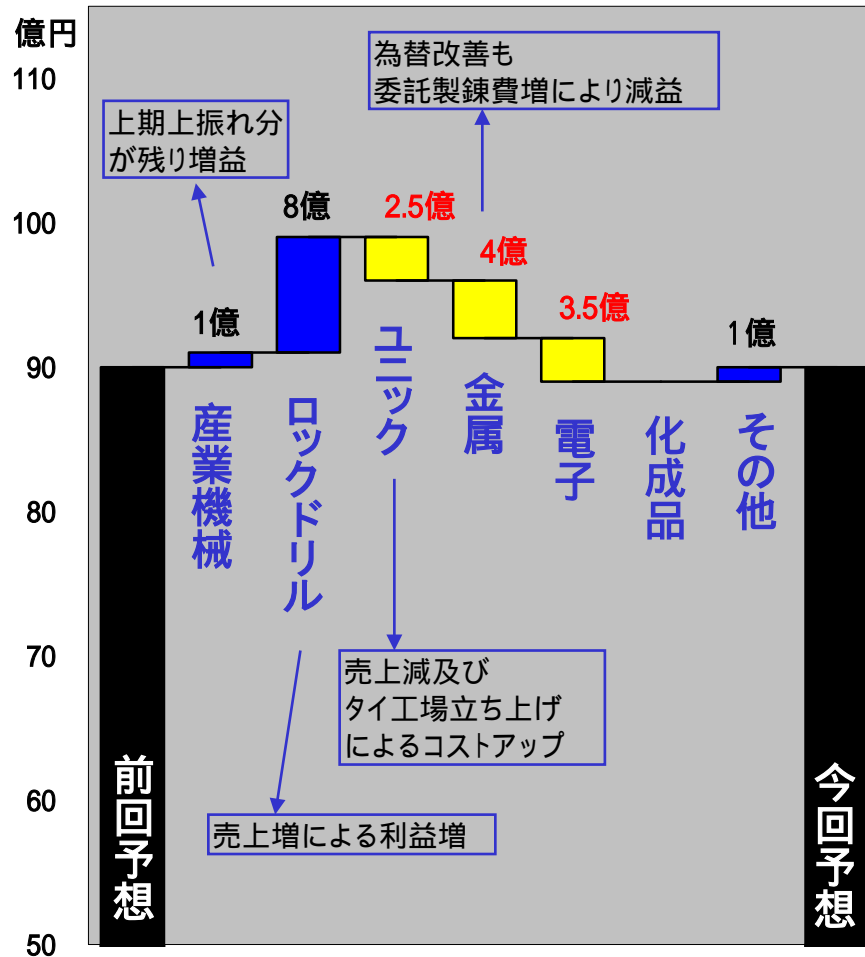


## 営業利益

90億

横ばい

90億



ロックドリルは海外売上増による増益、金属は委託製錬費増により減益。

## 設備投資の状況（連結）

設備投資額	14年3月期	15年3月期		16年3月期	
		(第2四半期)	(通年)	(第2四半期)	(通年予想)
機械部門	1,530	/	1,671	/	1,600
金属部門	769		96		300
電子部門	694		287		400
化成品部門	122		214		300
不動産部門	7,769		103		200
その他	543		186		400
設備投資 合計	11,430		853		2,557

## 減価償却費の状況（連結）

減価償却費	2,828	1,603	3,223	1,590	3,200
-------	-------	-------	-------	-------	-------

## 研究開発費の状況（連結）

研究開発費	2,538	1,168	2,227	1,312	2,700
-------	-------	-------	-------	-------	-------

## 金属製品・為替の状況（連結）

		14年3月期	15年3月期		16年3月期	
			(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(第3,4四半期想定)
銅海外相場(平均)	¢/ポンド	322.2	312.5	297.3	256.4	240.4
	\$/トン	7,104	6,890	6,554	5,653	5,300
円相場 対米ドル平均(円/\$)		100.24	103.04	109.93	121.80	120.00
《古河メタルリソース(株)生産販売》		14年3月期	15年3月期		16年3月期	
			(第2四半期)	(通期)	(第2四半期)	(通年予想)
銅 生産量(t)		87,767	47,044	90,447	45,051	86,353
銅 販売量(t)		94,966	48,219	96,675	48,052	94,050

共同製錬先の減産による減少

## 従業員の状況（連結）

	14年3月末	15年3月末	15年9月末	対15/3末増減
人員(名)	2,413	2,456	2,514	58



# トンネルドリルジャンボの取り組み



トンネル工事にかかるビジネスについては補足資料4-5ページ、トンネルドリルジャンボの動画や過去の実績については補足資料9-10ページをご覧ください。

## リニア中央新幹線・山岳トンネル工事 (NATM) の特徴

- ・急速施工が求められる  
... 2027年開通予定 実質掘削期間は7～8年と推定
- ・トンネル掘削延長が長い
- ・大断面掘削である
- ・切羽安定性の懸念がある...大量湧水・破砕帯遭遇等



実験線を走る新型リニア車両LO系

## 主な本坑となる山岳トンネルの概要 (計16本、総延長約138km)

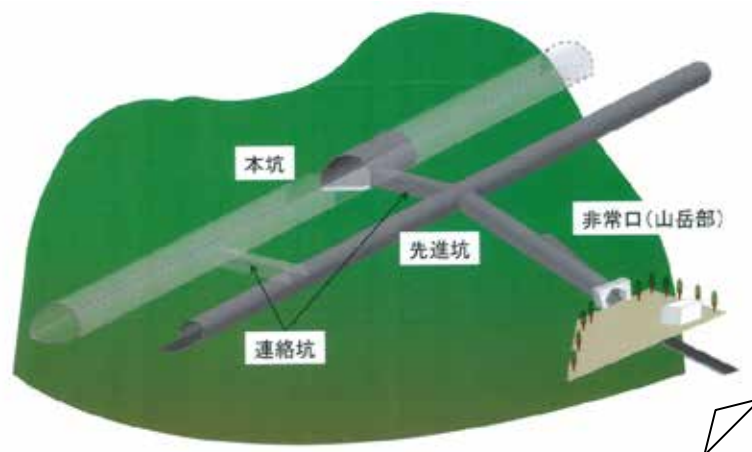
実験線及び都市トンネル除く

神奈川～山梨間	16,725m	津久井 (6,276m)	藤野 (10,449m)
山梨～長野間	51,467m	第三南巨摩 (2,521m) 南アルプス (25,019m)	第四南巨摩 (8,627m) 伊那山地 (15,300m)
長野～岐阜間	37,980m	風越山 (5,638m) 瀬戸 (4,371m)	中央アルプス (23,288m) 駒場 (4,683m)
岐阜～名古屋間	25,280m	第二大井 (1,561m) 美佐野 (3,260m)	長島 (5,927m) 日吉 (14,532m)
関東車両基地回送線	6,196m	上り関東回送線 (3,043m)	下り関東回送線 (3,153m)

## 本坑以外の山岳トンネル（非常口）

（計28本、総延長約35km）

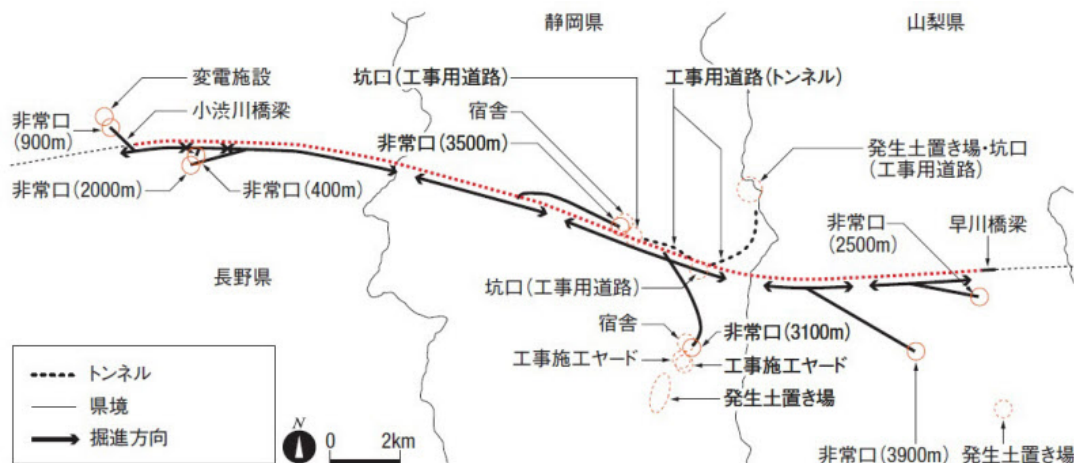
神奈川～山梨間	3本	2,650m
山梨～長野間	12本	21,400m
長野～岐阜間	8本	6,600m
岐阜～名古屋間	4本	3,200m
関東車両基地回送線	1本	500m



## 公表された山岳トンネル工事の具体的な案件

	工事件名	トンネル延長(本坑)	施行者	見積書提出時期
工事施工者が決定済み	南アルプス・山梨工区	7.7Km	大成建設JV	決定済み
見積の公告済み	南アルプス・長野工区	8.4km	-	2016年1月15日
15年度発注予定の鉄道建設・運輸施設整備支援機構より発表された案件	中央アルプス・トンネル1	4.5Km		
	中央アルプス・トンネル2	7.5Km		

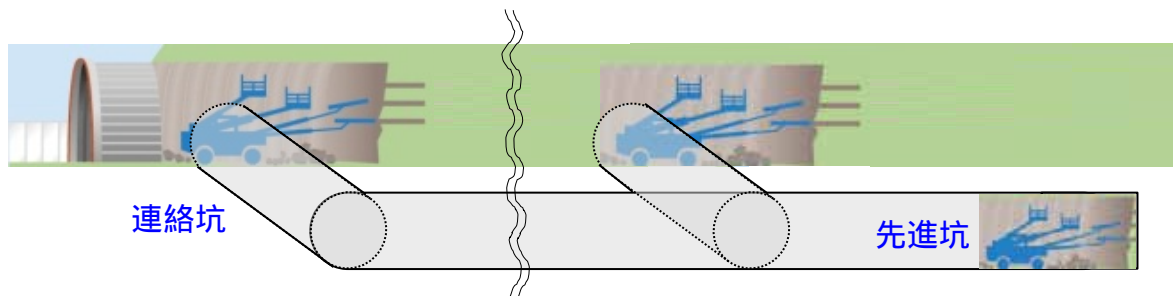
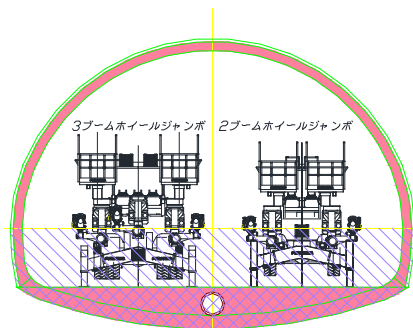
## 南アルプス隧道の工事概要



図中の非常口に続くカッコ内の数字は斜坑の延長。JR東海は2008～11年に山梨県早川町で延長3kmの水平ボーリングを実施した



## 想定される施工イメージ



## <強み> リニア向け新型トンネルドリルジャンボの開発

### 【大断面掘削、急速施工をサポートする新機能を装備】

#### 「新開発油圧ドリフタ」搭載

- ・クラス最大級の打撃力により高速穿孔が可能

#### 「ドリルNAVI」搭載

- ・全断面追尾式穿孔誘導システム（ドリルNAVI）により穿孔位置・差角・深さをナビゲーションし、オペレータが簡単かつ正確に穿孔作業が可能
- ・穿孔データを自動記録しリアルタイムで地質の把握が可能
- ・無線LANによる外部との情報共有化に加え遠隔監視も可能

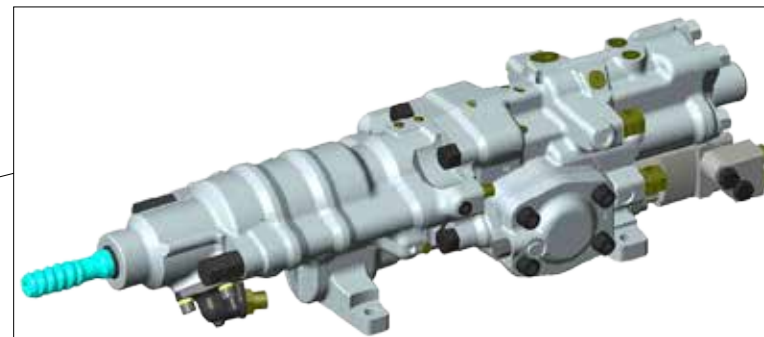
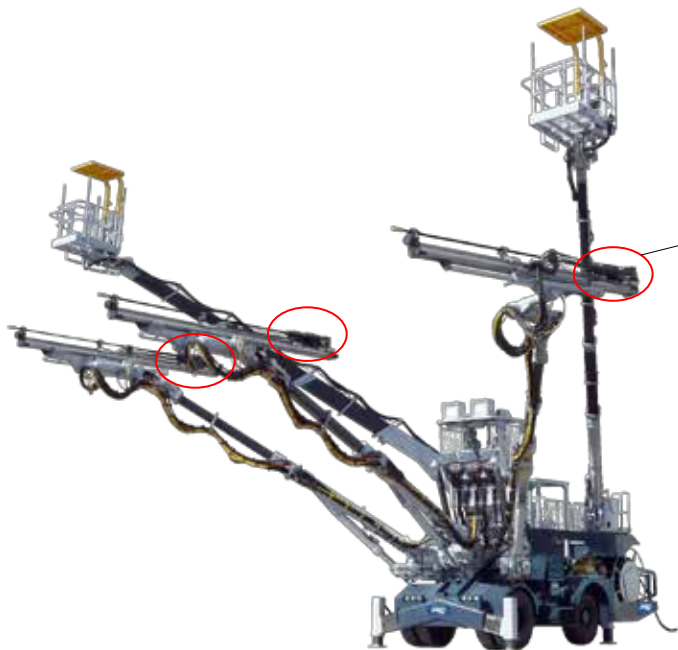
昨年12月、総合建設会社各社にデモンストレーション実施。







## <強み> 世界最高水準の油圧ドリフタを造る技術力



### 【心臓部である油圧ドリフタを一貫生産】

- ・ さく岩機メーカーとして100年以上の経験値 (= 独自ノウハウ)
  - ・ 極限の研磨技術による高い加工精度の仕上げ
  - ・ 自社熱処理技術による素材強度の安定化と品質確保
- 過酷な条件下で安定稼働が求められる油圧ドリフタを高い精度で一貫生産できる設計・生産技術を有する

## <強み> サービス体制の充実

### 【アフターサービスなどのサポート体制を強化】

- ・ より現場に近い場所でサポートすべく  
現地拠点開設を準備中

リニア中央新幹線工事のピーク時には150台を超えるトンネルドリルジャンボの稼働が見込まれ、  
当社の強みを活かし、全力で受注活動に臨む。

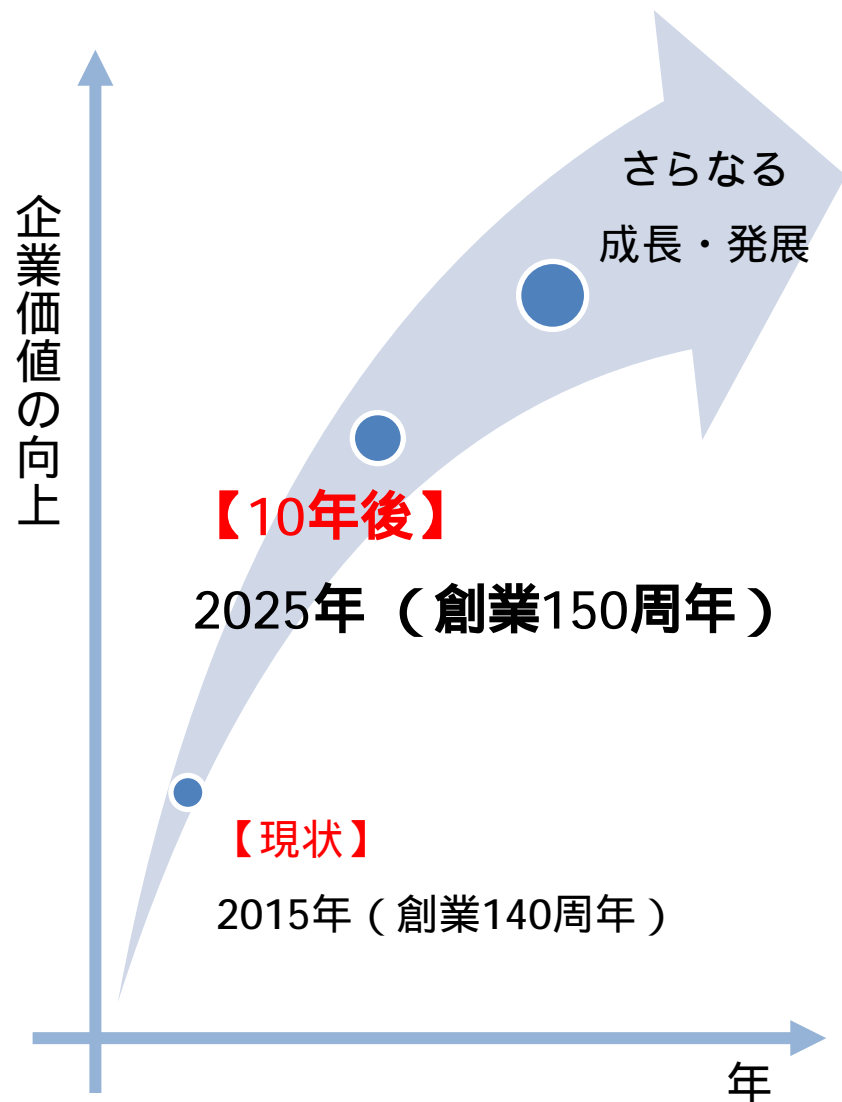
2025年ビジョン  
**FURUKAWA** *Power & Passion 150*

# カテゴリトップ・オンリーワン

を基軸として成長する企業グループの実現



## U 創業150周年を見据え、当社グループの進むべき方向性を明確化



### 経営理念

古河機械金属グループは、  
鉦山開発に始まり  
社会基盤を支えてきた技術を進化させ、  
常に挑戦する気概をもって  
社会に必要とされる企業であり続けます。

（2015年8月8日制定）

### 2025年ビジョン（10年後のありたい姿）

カテゴリトップ・オンリーワン  
を基軸として成長する企業グループの実現

（2015年11月6日制定）

## U 機械事業

油圧ブレーカ	油圧クローラドリル	トンネルリジヤボ
国内シェア40%	国内シェア65%	国内シェア80%



下水道用汚泥ポンプ	トラック搭載型クレーン	キャリア
国内シェア60%	国内シェア50%	国内シェア50%



## U 素材事業

高純度金属ヒ素
国内シェア70%



亜酸化銅
国内シェア45%

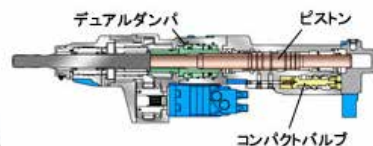


(注) 上記製品シェアは当社調べによるものです。



## U オンリーワン技術・製品

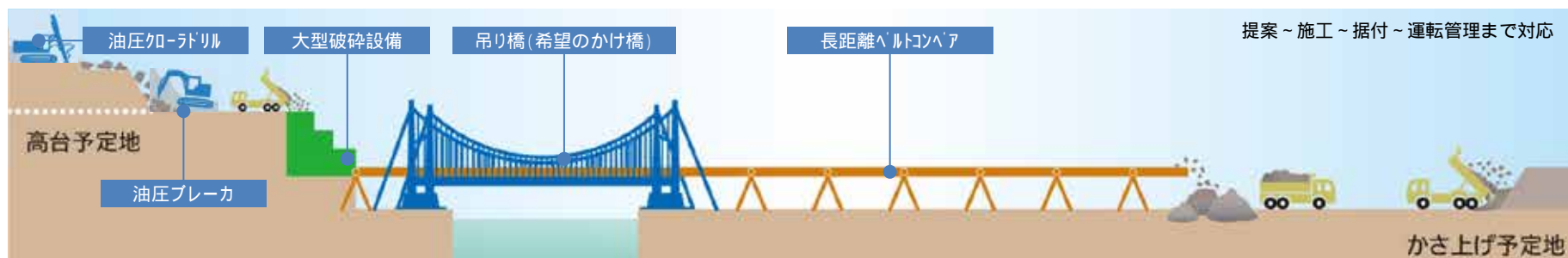
トンネルドリルマシン		トラック搭載型クレーン	ミニ・クレーン
トンネルワークステーション (NATM)	油圧ドリフト (デュアルダンパ)	ジョイスティック式リモコン	(吊上げ能力10t)



## U 総合力

鉱山開発をベースに長年培った独自技術の組み合わせ

< 事例 > 陸前高田市震災復興整備事業  
岩盤掘削、土砂破碎搬送設備 において総合力を発揮



**カテゴリートップ・オンリーワン**を基軸として成長する企業グループの実現

< ビジョン達成のための方針 >



『マーケティング経営』による  
古河ブランドの価値向上

機械事業の  
持続的拡大

人材基盤の  
拡充・強化

企業価値向上に  
資する投資等の  
積極的推進

経営基盤の整備



2025年度（創業150周年）に向けて

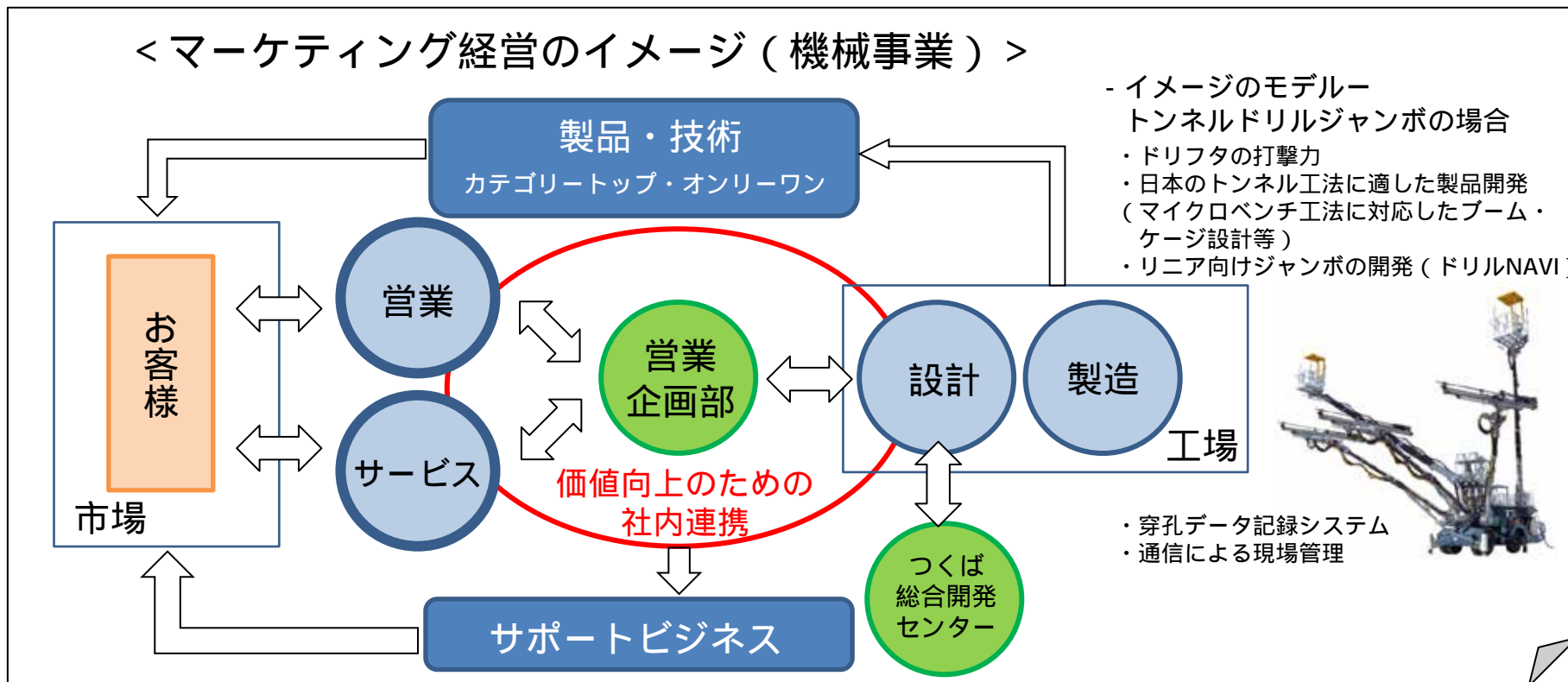
連結営業利益150億円超の常態化

（注）『マーケティング経営』：マーケティングを経営の根幹に据え、激変する市場の中で価値を認められる製品やサービスを提供し、顧客との絆を深めることにより、持続的に企業価値を高めたいとの思いを込めた造語です。

## 『マーケティング経営』による古河ブランドの価値向上

- 市場ニーズに合致した製品・技術開発
- 顧客ニーズを捉えた技術営業力（提案型・ソリューション型）の強化
- 強みを活かせるニッチ製品への集中と差別化戦略によるカテゴリートップ化の推進
- 新たな市場・カテゴリーの開拓・創造と新たなビジネスモデルの構築

### < マーケティング経営のイメージ（機械事業） >





## U 機械系事業

< リニア中央新幹線向け新型トンネルドリルジャンボの新製品開発 >

顧客（総合建設会社）との双方向コミュニケーションによる新製品の開発プロセス



開発部門による最新技術の  
プレゼンと顧客ニーズの把握



高崎吉井工場での試作機デモと  
顧客評価のヒアリング



「ドリルNAVI」を搭載した  
新製品の開発

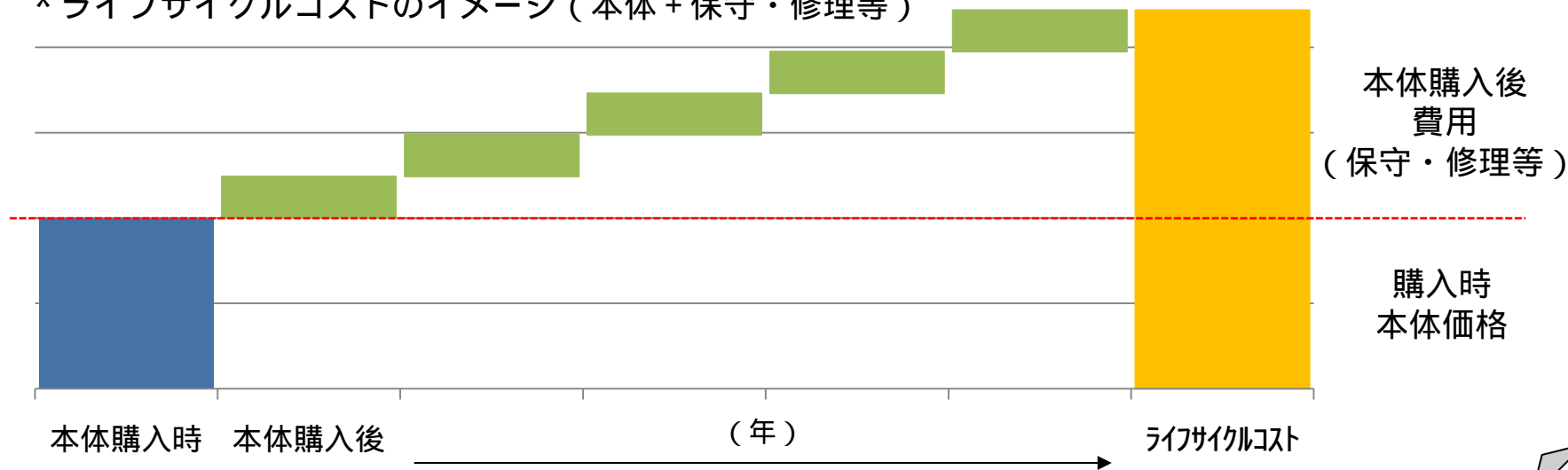
## 機械事業の持続的拡大

- ｜ インフラ関連・資源開発等を中心に拡大する海外市場における収益基盤の強化
- ｜ スtockビジネスの拡充・強化
- ｜ グループ総合力の発揮、エンジニアリング力の強化によるビジネスチャンスの拡大

### <ストックビジネスの事例>

お客様のパートナーとして、最適な機材の管理を実現（ライフサイクルサポート）

\* ライフサイクルコストのイメージ（本体 + 保守・修理等）



## 人材基盤の拡充・強化

- | 新しい古河の活力あふれる人づくり・風土づくり
- | 国内外の多様な人材の確保・活用・育成
- | 営業・サービス人材の重点強化

## 企業価値向上に資する投資等の積極的推進

- | 成長に必要な設備投資を積極的に実施
- | 戦略的なM&A、アライアンスによる事業拡大

## 経営基盤の整備

- | 二桁台のROEを意識した収益性・資本効率の改善による企業価値の向上
- | 堅固な財務基盤の確立
- | 成長投資と株主還元へのバランスのとれた配分



ご清聴有難うございました

△ 古河機械金属株式会社

## 補足資料一覧

### ・ 事業概要

- 技術の系譜 -

- 機械事業のキーワード -

トンネル工事    コンクリート    土木・建設現場    海外



### ・ 理解促進コンテンツ紹介

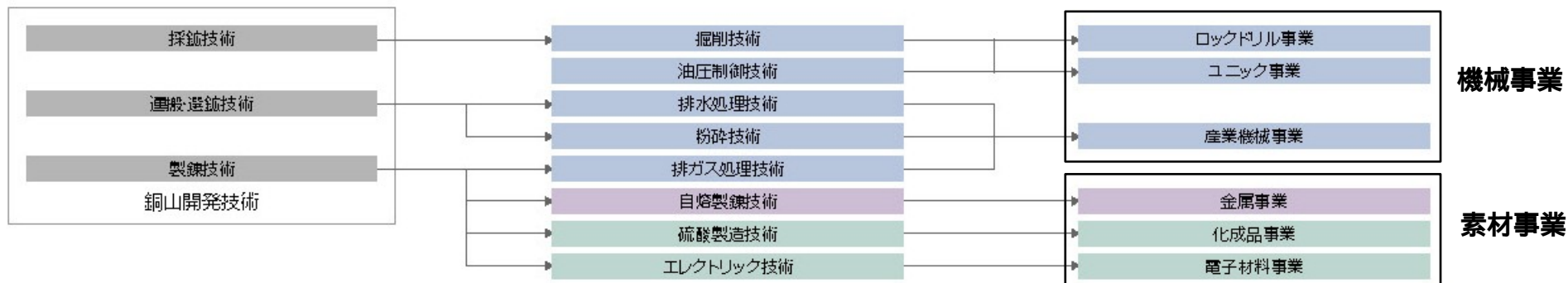
・ 過去の部門別実績及び業績予想

・ 銅価格及び為替相場推移



1875（明治8）年創業以来、当社は**銅山事業**を出発点に様々な事業を展開、**鉱山開発**で培われた技術は、現在の事業領域の礎となっています。

古河機械金属技術の系譜



## 金属事業



電気銅



銅錠



シールドポンプ



粉砕機



銅製機

## 産業機械事業

## 化成品事業



高級化銅



銅化銅



高純度金属に銅



コアコイル

## 不動産事業



不動産



## ロックドリル事業



トンネルドリルジャンボ



海洋クローラドリル



海洋ブレイカ



海洋圧縮機

## ユニック事業



ユニッククレーン



ユニックロータークレーン



ユニックキヤリア



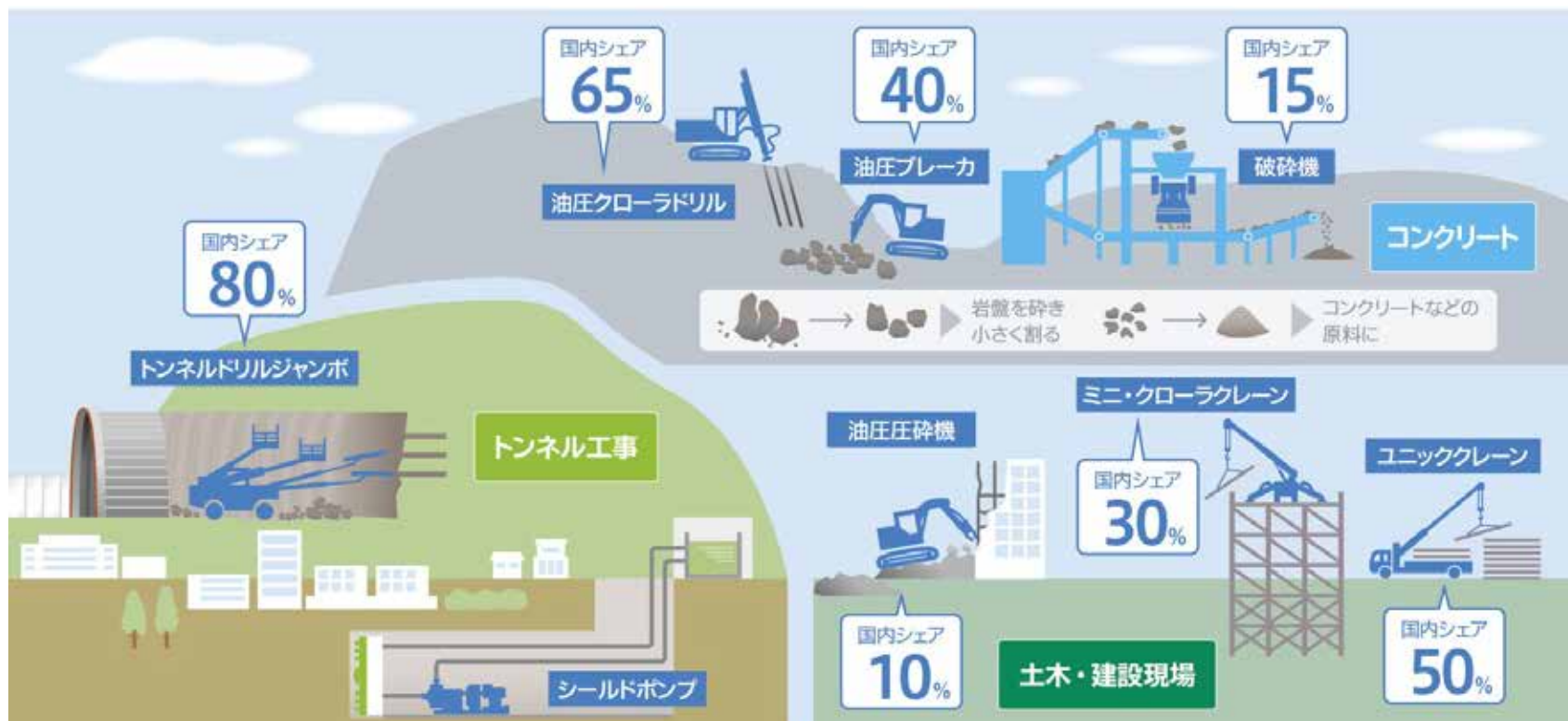
ユニックバル



## 機械事業 4つのキーワード

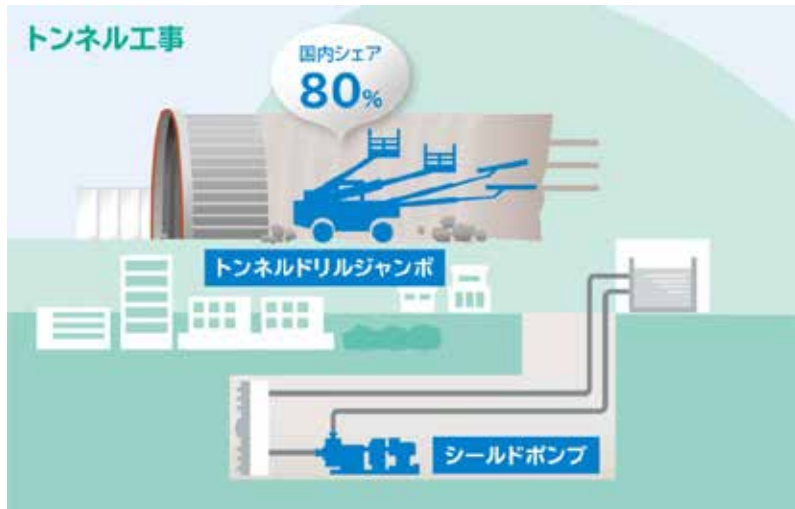
トンネル工事    コンクリート    土木・建設現場    海外

インフラ整備にかかる当社製品群と国内シェア



インフラ整備に使用される当社製品群の実際のムービーがご覧になれます (補足資料参照)

## キーワード 「トンネル工事」



重点分野	主な建設現場
トンネル工事	復興道路、復興支援道路 整備新幹線 リニア中央新幹線 外環道、等

トンネル種類	掘削工法	当社製品	実績例
山岳トンネル	発破工法	・トンネルドリルジャンボ ・油圧ブレーカ	・八甲田トンネル ・青函トンネル ・関越トンネル 他
地下・海底トンネル	シールド工法 泥水式	・シールドポンプ	・東京湾アクアライン ・つくばエクスプレス 他
	シールド工法 土圧式	・ベルトコンベア	・なし (陸前高田市 土砂搬送)



**トンネルドリルジャンボ：**  
岩盤発破に必要な火薬装填用の  
穴を開けるロックドリル



**油圧ブレーカ：**  
岩盤掘削や発破後の  
浮石除去に使用



**シールドポンプ：**  
掘削した土砂を水と一緒に排出する  
ポンプ



**ベルトコンベア：**  
掘削した土砂を搬送する  
ベルトコンベア



## キーワード 「トンネル工事」

### トンネル工事案件多数

- ・ **リニア中央新幹線** (品川～名古屋 2027年開通予定)  
トンネル工事総延長 約246km  
(山岳トンネル約138km,実験線除く)
- ・ **整備新幹線** (北海道2035年,北陸2025年,九州2022年開通予定)  
トンネル工事総延長 約240km  
(北海道 約160km、北陸 約37km、九州 約41km)  
前倒し開通の可能性有

このほか、**復興道路・復興支援道路、中部横断道、外環道**など



< リニア中央新幹線 >



実験線を走る新型リニア車両L0系



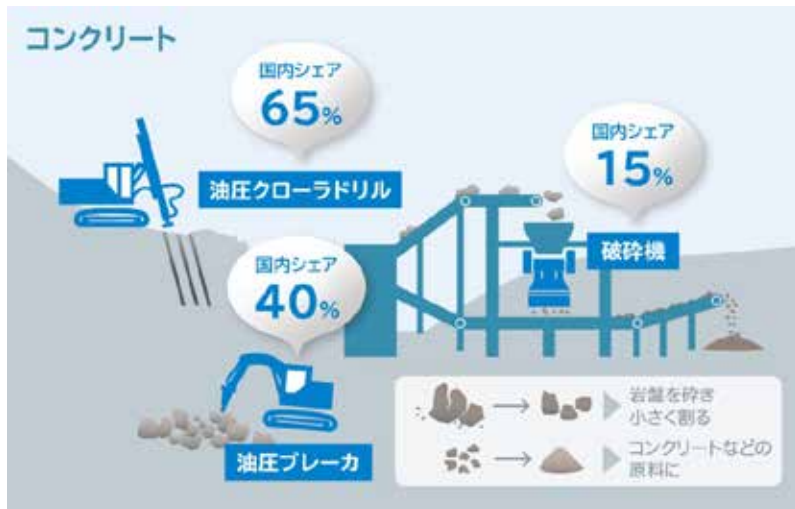
< 復興道路・復興支援道路 >



< 整備新幹線 >



## キーワード 「コンクリート」



### コンクリートとは

骨材（砂や砂利）とセメント、水などを混ぜ結合させたもの。  
骨材には**碎石**、セメントには**石灰石**が含まれます。



重点分野	主な建設現場
コンクリート	碎石、石灰石鉱山 碎石プラント、等



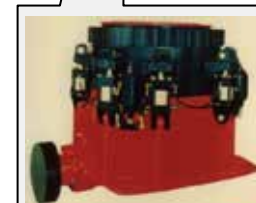
**油圧クローラドリル：**  
岩盤発破に必要な火薬装填用の穴を開ける機械



**油圧ブレイカ：**  
発破後の大きな岩石を小割する油圧ショベルのアタッチメント製品



**破碎機（1次）：**  
岩石を小さく砕く

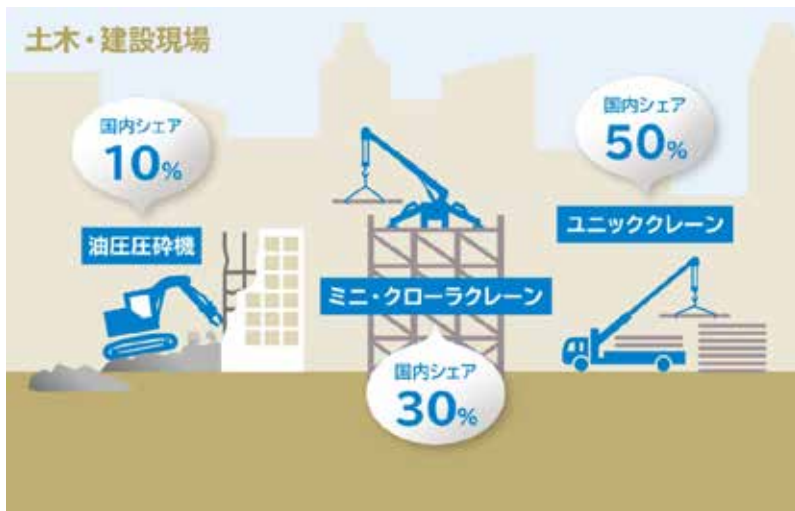


**破碎機（2次）：**  
さらに岩石を小さく砕く



**スクリーン：**  
岩石をふるい分けする

## キーワード 「土木・建設現場」



重点分野	主な建設現場
土木・建設現場	土木工事 ビル建設 解体現場、等

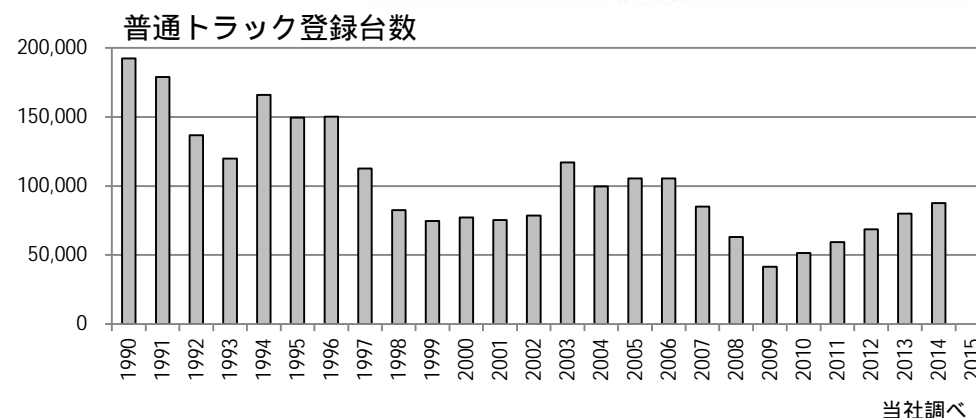
**ユニッククレーン：**  
建築資材などの運搬と積み降ろし作業が一台でできるトラック搭載型クレーン



**油圧圧砕機：**  
コンクリートの解体に使用する油圧ショベルのアタッチメント製品



**ミニ・クローラークレーン：**  
トラックの入り込めない場所で作業可能な自走式クレーン





## キーワード 「海外」

重点分野	主な現場
資源開発	各種鉱山(銅、鉄鋼、石炭等) 砕石現場
インフラ整備	土木工事 ビル建設



油圧クローラドリル



油圧ブレイカ

### ロックドリル事業 (拠点: )

発破用の穴を掘る油圧クローラドリルや大きな岩石を破碎する油圧ブレイカは、鉄鉱石・銅鉱石・石炭・石灰石等の各種鉱山や砕石現場などの「資源開発」、岩盤の硬い地域の「インフラ整備」などにおいて活躍。



ユニッククレーン



ミニ・クローラクレーン

### ユニック事業 (拠点: )

トラック搭載型クレーンのユニッククレーンは、新興国を中心に市場開拓。コンパクトで自走可能なミニ・クローラクレーンは、建設現場や屋内の狭いスペースで作業可能なため、欧米を中心に用途開拓が進む。

## 会社紹介映像「FURUKAWA 140 YEARS」(NEW!!)



創業140周年を機に刷新した会社紹介映像です。

オープニング「140 years」

...過去から現在までの写真を並べ140年を表現

「古河機械金属のなりたち」

...足尾銅山の古いフィルムから当社起源を紹介

「近代化への道」

...日本の高度成長期にどう関わってきたかを紹介

「未来へと続く道」

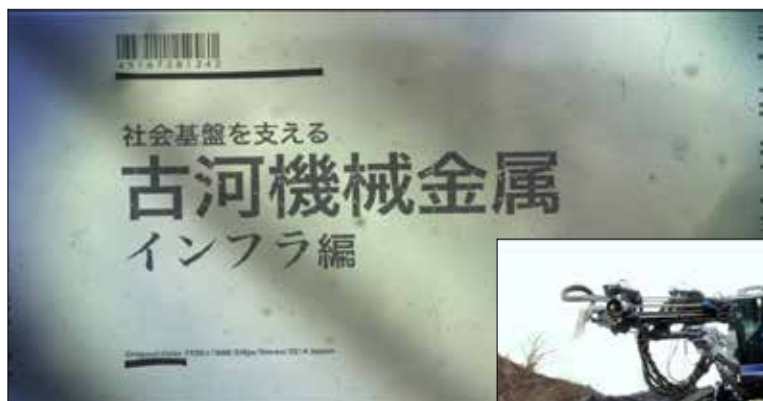
...現在の主力製品群を紹介

当社の原点、社会との関わり、製品群を短時間で確認できる映像ですので是非ご覧ください！！

<https://www.youtube.com/watch?v=hVFQY8Ahpos>



## シネマPV「社会基盤を支える古河機械金属 インフラ編」



インフラ整備の川上から川下まで当社の製品がどのように関わっているかを紹介したイメージPVです。

採掘現場で活躍する「油圧クローラドリル」や「破碎機」、トンネル工事に不可欠な「トンネルドリルジャンボ」、建設現場でみる赤いクレーンの「ユニック」など、実際の現場で撮影しシネマ化しました。

当社機械事業の理解にお役立て下さい！！

[https://www.youtube.com/watch?v=gTszdxNNG\\_w](https://www.youtube.com/watch?v=gTszdxNNG_w)



## HPスペシャルコンテンツ「5分でわかる！古河機械金属」



当社の**歴史**と**製品**を短い時間でわかりやすく紹介したコンテンツです。

<http://www.furukawakk.co.jp/pdf/others/introduction.pdf>



## ガイドブック「FURUKAWA 140 YEARS」(NEW!!)



当社の140年の歩みを振り返るガイドブック。  
写真の解説やコラムにより、**当社の起源**、**社会への関わり**、**現主力製品群**などを簡潔に紹介した冊子です。



<http://www.furukawakk.co.jp/pdf/guidebook2015.pdf>



# 補足資料 過去の部門別実績及び業績予想

## (売上高)

(単位:百万円)

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期(予想)
機械部門	67,795	75,841	62,639	44,313	47,025	53,198	56,852	71,111	75,990	78,600
（産業機械）	(14,119)	(17,331)	(15,836)	(12,783)	(10,655)	(12,949)	(12,894)	(18,527)	(16,712)	(17,400)
（ロックドリル）	(33,046)	(37,497)	(29,427)	(20,386)	(23,880)	(24,143)	(23,305)	(26,842)	(30,910)	(30,900)
（ユニック）	(20,629)	(21,012)	(17,375)	(11,142)	(12,490)	(16,105)	(20,651)	(25,741)	(28,367)	(30,300)
金属部門	84,753	97,519	68,786	71,132	79,979	68,114	77,944	78,684	81,513	76,000
電子部門	(9,364)	(8,751)	5,568	5,969	7,147	4,615	4,987	5,381	5,743	5,500
化成品部門	(6,538)	(6,525)	5,820	5,025	5,076	5,187	5,093	6,096	6,013	6,000
塗料部門(1)				3,692	15,040	44,874	15,079			
不動産部門	2,936	2,758	2,386	2,043	1,577	1,233	1,058	1,013	2,535	3,000
燃料部門(2)	28,206	20,735	15,452	9,893	9,004	9,576	3,770			
その他	1,154	1,294	1,204	854	785	766	753	739	747	900
合計	200,749	213,426	161,857	142,925	165,638	157,566	165,539	163,026	172,544	170,000

## (営業利益)

(単位:百万円)

	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期	15年3月期	16年3月期(予想)
機械部門	5,901	6,837	1,733	3,022	566	1,970	2,923	5,333	6,551	6,450
（産業機械）	(72)	(837)	(767)	(433)	(29)	(708)	(778)	(1,851)	(1,711)	(1,200)
（ロックドリル）	(3,120)	(3,702)	(255)	(2,584)	(350)	(333)	(67)	(341)	(1,225)	(1,800)
（ユニック）	(2,708)	(2,297)	(710)	(870)	(186)	(928)	(2,212)	(3,141)	(3,614)	(3,450)
金属部門	8,837	6,206	23	3,224	1,494	308	282	1,503	1,449	1,600
電子部門	(1,386)	(984)	4	657	1,279	234	262	123	52	250
化成品部門	(701)	(470)	201	104	269	251	304	315	267	200
塗料部門(1)				9	93	329	68			
不動産部門	839	749	706	1,128	635	356	219	43	776	1,200
燃料部門(2)	174	430	202	29	56	13	28			
その他	301	228	304	376	92	93	63	60	130	40
調整額	351	181	264	69	49	60	78	39	42	160
合計	16,898	14,407	2,303	1,597	2,821	2,154	3,363	6,886	8,925	9,000

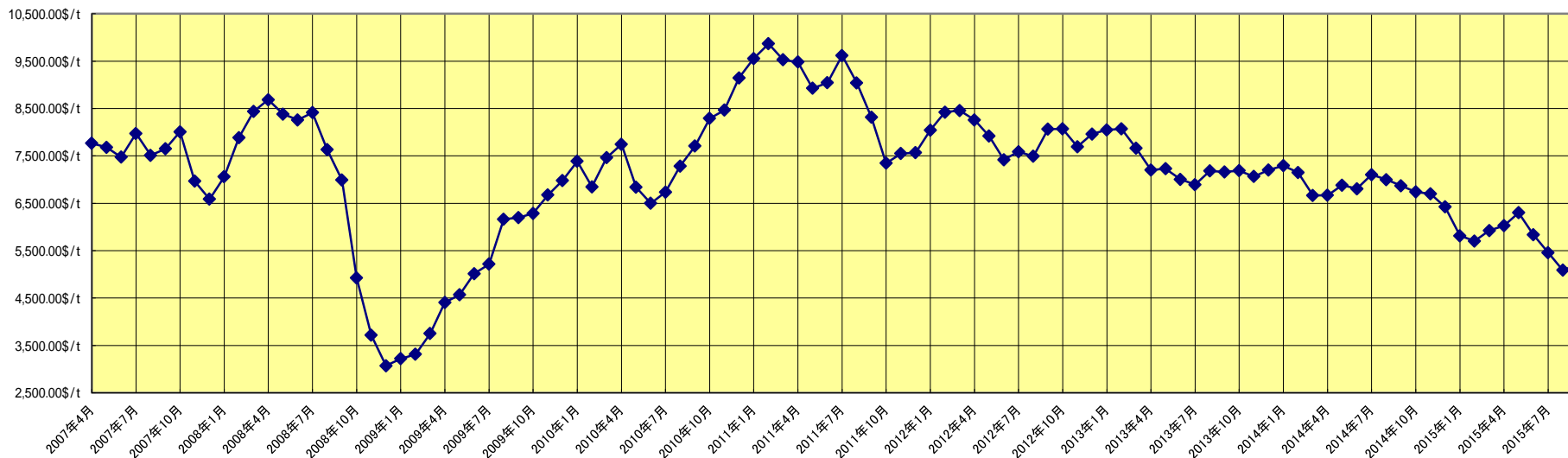
1: 09/12に駒トウベを連結子会社化、13/03に駒トウベの株式譲渡により塗料部門から撤退

2: 12/10に古河コマース駒の株式譲渡により燃料部門から撤退

注: 「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用(11年3月期)により10年3月期の数値を同基準に置き換えて表示しています

## 銅価格海外相場推移 (月中平均)

当社調べ



## 為替相場推移 (月中平均)

当社調べ

